

筒井 淳也

専門分野は社会学です。家族、組織、ネットワーク、メディア等の幅広い社会現象について、様々な調査結果を使った分析を行っています。学部時代はマスコミ論や社会心理学を研究していましたが、それ以降は社会学分野で活動しています。授業では「社会調査士実習」「メディア社会論」「基礎社会学」などを担当していますが、研究関心の幅は広いと思います。

質問や連絡は、まずはメールにてお願いします。

1. 専門演習の目標

演習の目標は「自分で考えて問いを見つけ出し、自分で集めた実際の調査やデータを通じて、その問いに答えること」です。その後の人生で必要になる問題発見能力・問題解決能力を、研究を通じて身につけることを目指します。

2. 専門演習で扱う課題と内容

社会学が取り扱う様々な現象について、様々な方法(主に社会調査)を使って研究します。共通テーマとして「社会的ネットワーク」を設定しますが、各自の興味に合わせて他の関連分野(階層、家族、地域、組織など)も研究テーマとして取り組むことが可能です。

共通テーマである社会的ネットワークとは、個人が持つ人間関係・社会関係(知人・友人・恋人・家族)のことです。そういった関係の質や量がどうやって決まるのか、関係の質や量によって個人がどういった利益を得るのか、といった問いが代表的な研究テーマです。

どのテーマに取り組むにせよ、重点的に指導するのは研究方法です。単に「本を読んでまとめる」という研究はゼミでは認められません。自分で問いをたて、自分で集めた証拠をもとにその問いに答えることが研究です。

自分の頭で考え、自分の足で証拠を見つける、そういった研究活動を通じたゼミ生の成長をみまもりたいと思います。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期：まずはメンバーがリラックスしてゼミに臨める環境づくりをします。その後は研究方法の基礎、そして共通テーマとして社会学

および社会的ネットワーク論の基礎について学びます。

3回生後期：簡単な研究テーマにグループ単位で取り組みます。

4回生前期：卒業論文の研究計画を練ります。Goサインができれば実際に研究に取り組みます。

4回生後期：継続して卒業論文に取り組みます。

4. 必要とする知識

特別な知識は必要ありません。社会調査士課程の学生がいれば、他のゼミ生の調査のサポートをお願いするかもしれません。

5. 関連する分野・科目・知識

社会学、ネットワーク論、ソーシャル・キャピタル論、組織論、家族論など。実際にゼミで取り組むテーマは「社会学が扱える範囲」になると思います。

6. テキスト・参考書・機材(受講生が標準的に持つもの)

特にありません。(必要なものがあれば適宜ゼミの中で指定します。)

7. 独自に付加する選考方法

万が一応募者が多数の場合には、書類以外の選考を行うことも考えています。

8. 受講生に望むこと

社会学に何らかの形で興味があること。授業の中でも外でも積極的にゼミに関わる意欲があること。